

アンチパターンから学ぶID管理

2011年2月1日

標準化部会 セキュリティにおける
アイデンティティ管理 WG

駒沢 健 (NTTコムウェア)

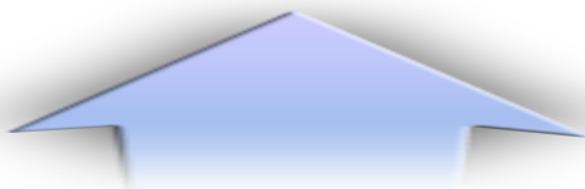
自己紹介

- **1997年NTTコムウェア入社**
 - NTTの通信設備のシステム開発に従事
- **1999年よりセキュリティのSE**
 - 認証(シングルサインオン・生態認証)
 - PKI
 - 端末制御・端末管理
 - ウィルス対策
 - セキュリティグランドデザイン
- **2008年にID管理の案件従事**
 - 難しい・・・



ID管理に関する様々な課題検討

標準化部会「セキュリティにおけるアイデンティティ管理 WG」



NRI SECURE
TECHNOLOGIES

NEC

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

FUJITSU

東芝ソリューション株式会社

SIGMAXYZ
Xpartner for Your Z

JBS

 **NTTコムウェア**

 **INTEC**

CTC
Challenging Tomorrow's Change

ORACLE

IBM

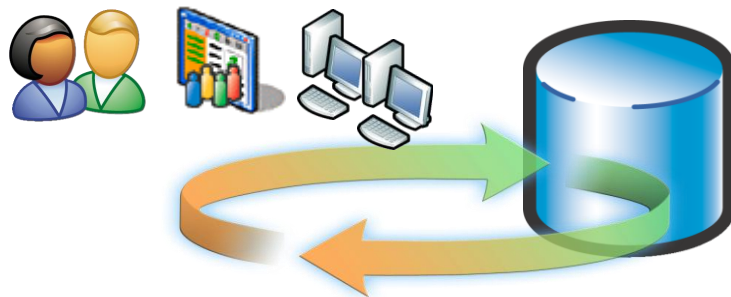

**NET
MARKS**

Microsoft
MITSUBISHI
Changes for the Better

ID管理とは

ID管理は、組織または企業全体にわたり、すべてのユーザ、アプリケーション、または装置のデジタルIDのライフサイクルを管理する機能

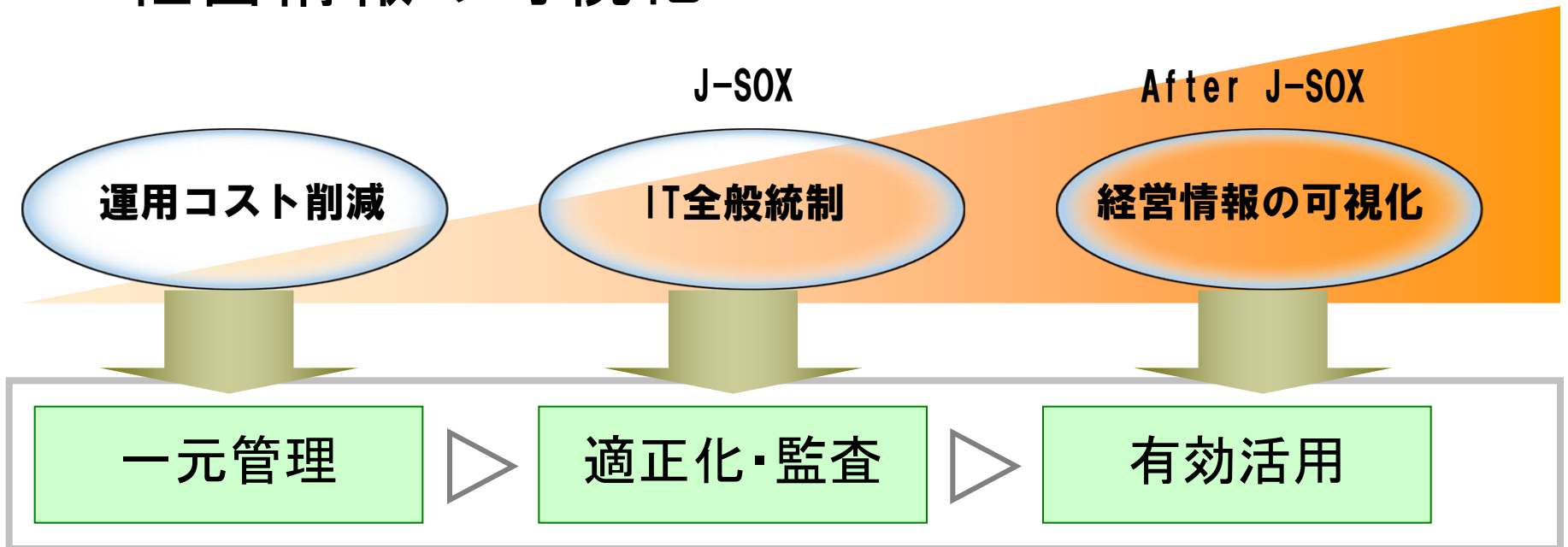
ユーザ、アプリケーション、装置



ライフサイクル
(生成・活用・破棄)

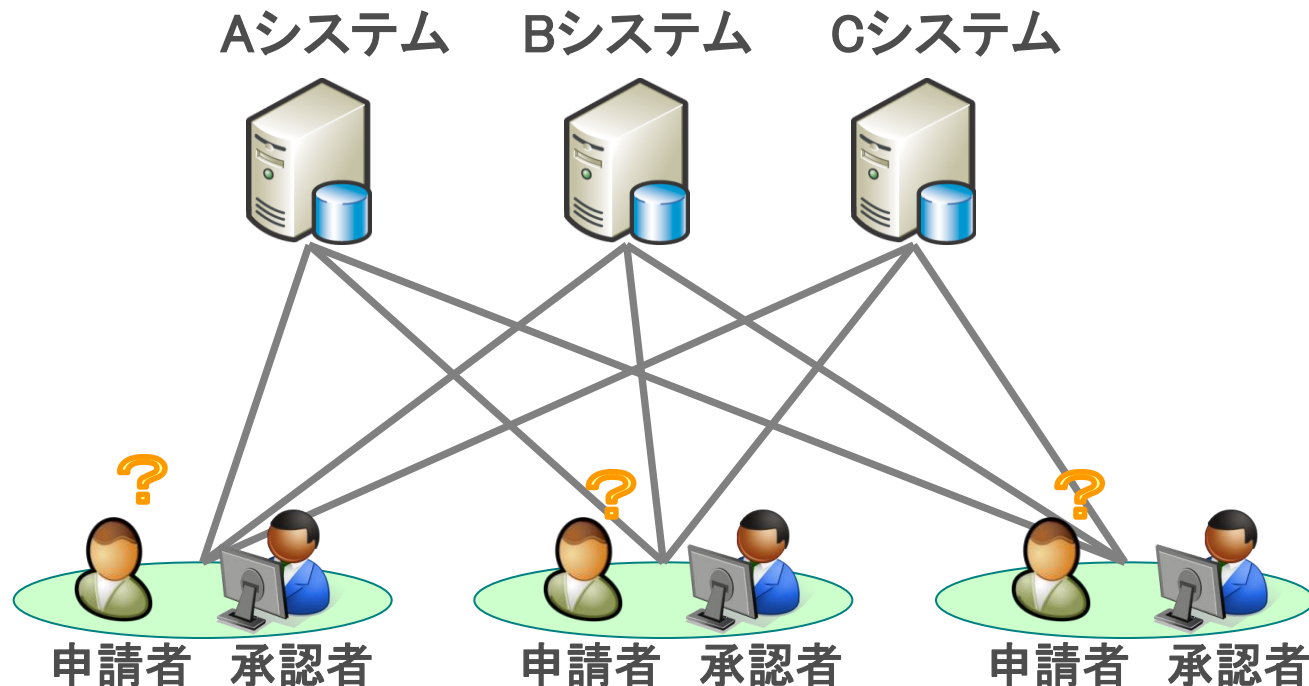
ID管理の導入目的

- 運用コスト削減
- IT全般統制
- 経営情報の可視化

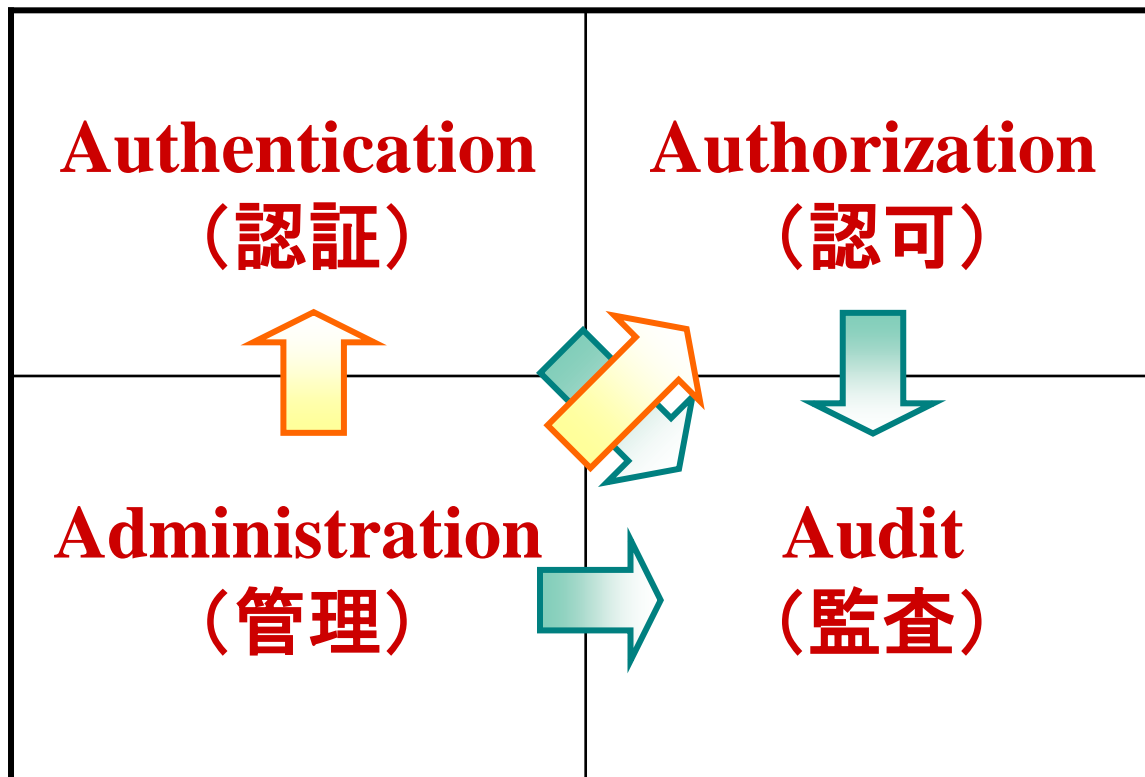


ID管理における問題

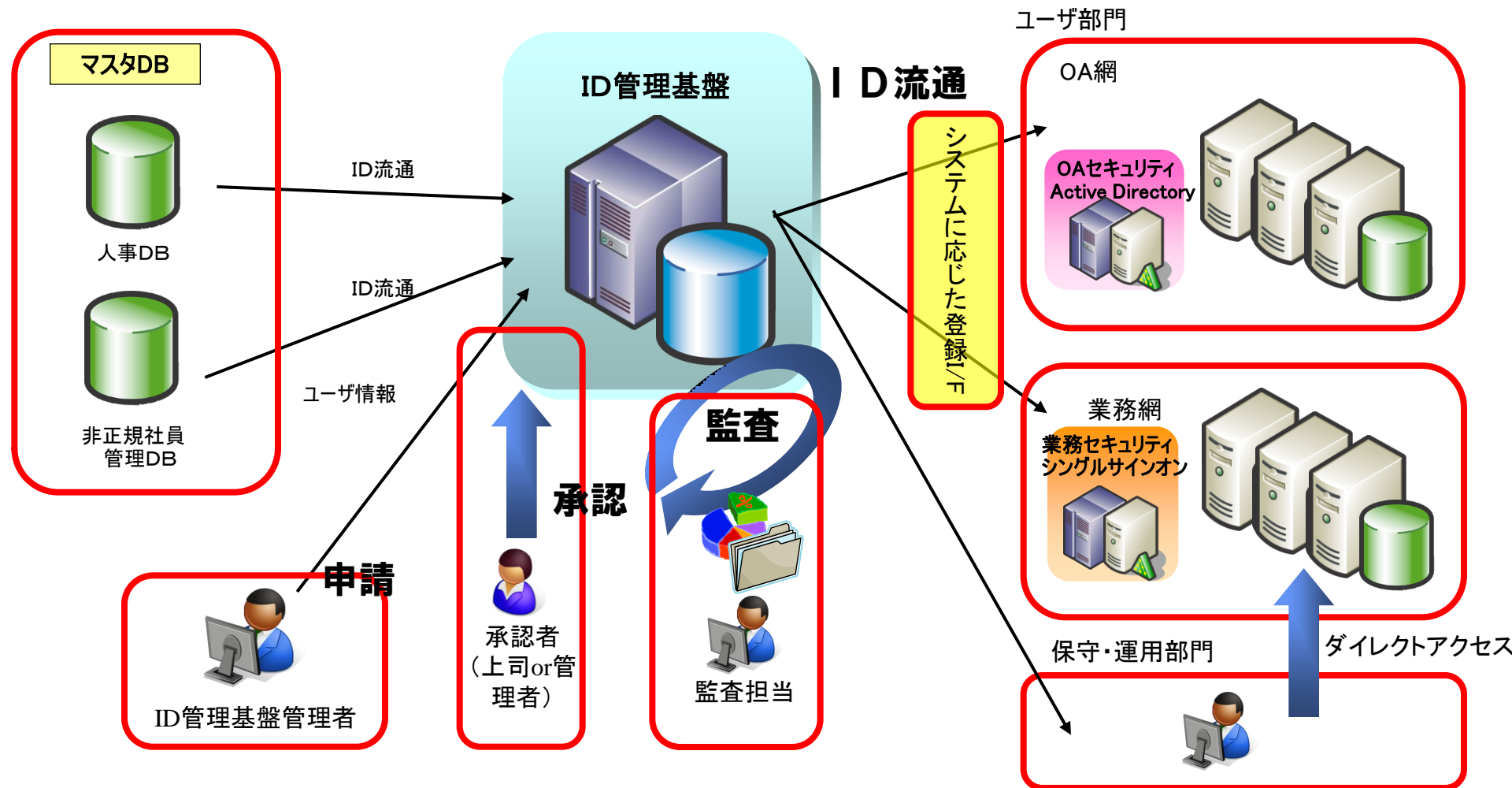
- 業務システムが個別にIDを管理
 - 現場の負担増
 - 運用ルールの不統一



制御部(認証・認可)のIDを管理する



ID管理の理想形態



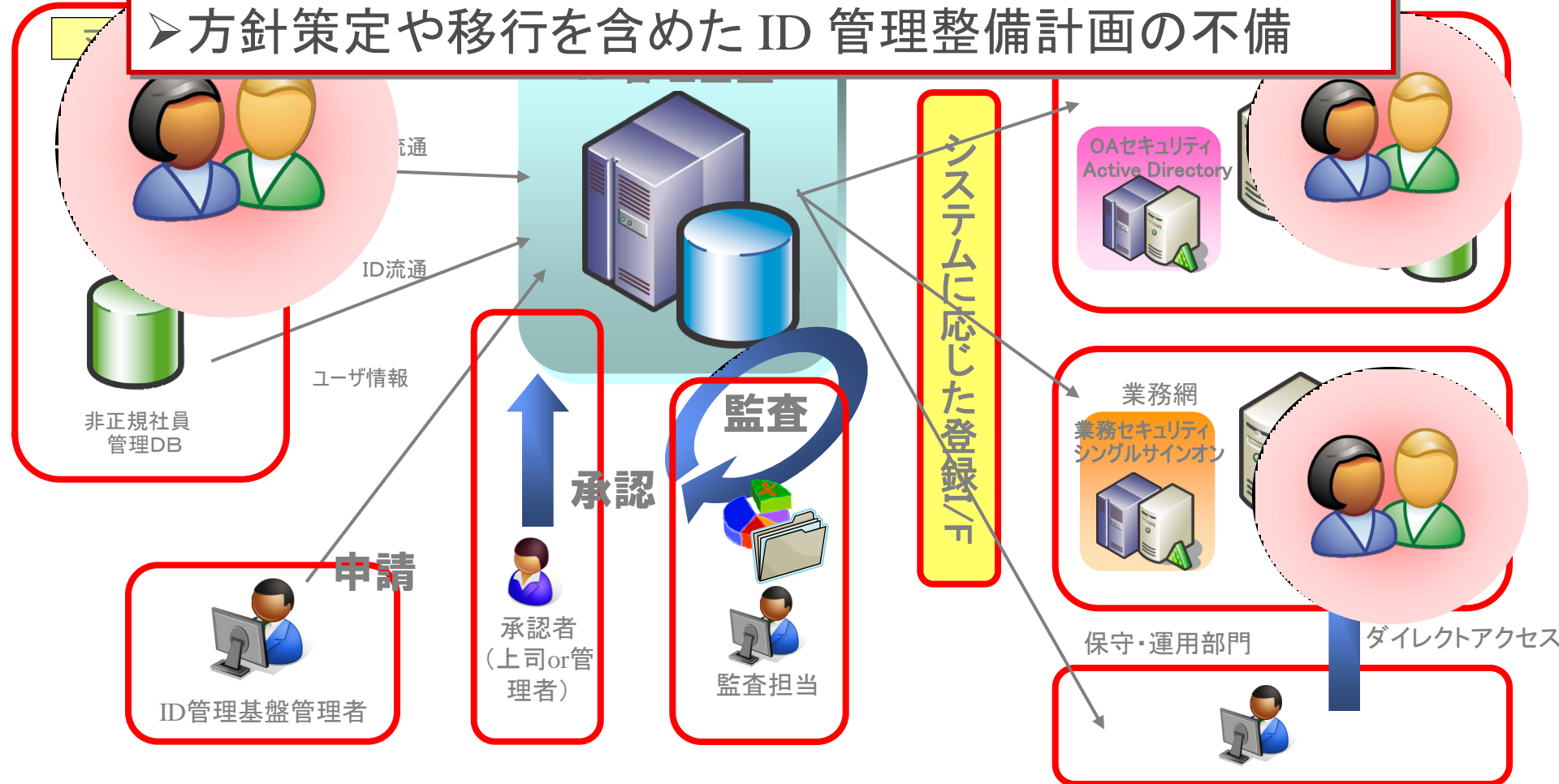
アンチパターン: 絵に描いたモチ

絵に描いたモチ

- IT部門がJ-SOX対応としてID管理を企画
- 企画の全体像に関連する組織を巻き込まず検討を実施
- 施策推進の課題が十分に把握できないままプロジェクトは進む
- プロジェクトが進むにつれ関連組織からクレームが膨らむ
- 業務要件からやりなおし・・・

教訓（絵に描いたモチ）

- システム構想に向けた全社コンセンサスの不足
- 方針策定や移行を含めた ID 管理整備計画の不備



アンチパターン: 繋がるだろう症候群

繋がるだろう症候群

- IT部門がJ-SOX監査対応としてID管理を企画
- ID管理製品(パッケージ)を極力活用して導入する方針
- 製品標準の連携コネクタでプロビジョニング先のシステムと連携を判断(製品パンフレット確認)
- テスト段階で標準コネクタが扱えない属性の配信要望が...
- 当初計画外の拡張開発が...

教訓(繋がるだろう症候群)

- プロビジョニング先の調査不足
- 製品仕様調査の不足

マス



ID流通

ID流通

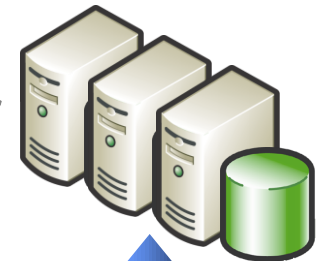
ユーザ情報



OAセキュリティ
Active Directory



業務網
業務セキュリティ
シングルサインオン



保守・運用部門

ダイレクトアクセス



承認

監査

申請



ID管理基盤管理者



承認者
(上司or管理者)



監査担当

- ID管理プロジェクトは全社プロジェクトとしてスタートすること
- プロビジョニング先の事前調査と製品仕様の確認を徹底すること
- 関連部署との協力体制を構築し、業務フロー分析・整理は必ず行うこと
- 製品を意識し、要件の範囲を広げすぎないようにする
- プロビジョニング先の徹底的な事前調査が必ず行うこと

クラウド環境における アイデンティティ管理ガイドライン



【内部統制に対応した統合ID管理の計画から導入まで】

クラウド環境に対応したアイデンティティ管理導入について
日本ネットワークセキュリティ協会の約5年間の活動を集大成したガイドライン

本書の内容

実際にシステムを販売しているベンダー、
コンサルタント、SIerによる初の書き下ろし

現場の担当者がすぐ使えるテンプレート付き
クラウドを活用する際の要点がわかる!

インプレス社より電子書籍にて販売中

つつ、ID管理システムを導入するユーザ、SIerなどにとって有用となる知識・ノウハウが持ち寄られています。

その結果、本書の解説はアイデンティティ管理とは何か?から始まり、主要な構成要素の定義、内部統制や情報セキュリティといった外部的な要請との関係、ID管理システムの導入効果、ID管理システム導入の各フェーズのタスクについての指針、アイデンティティ管理システムの導入事例、プロジェクトの失敗パターンと処方箋、FAQと広範囲にわたって詳細にまとめられています。また、近年急速にクラウドサービスの活用が普及の兆しをみせていますが、インターネット上のサービスということもあり、利用においてはセキュリティ面の課題があります。特にID管理に関しては技術・運用の観点で新たな知識が必要となります。本ガイドラインではクラウドを活用する際の考慮点もまとめていますので、クラウドを検討する際に活用いただけます。

となっています。

項目	カテゴリ	対象となる業務プロセス	編者	部門	対象	備考	頁数
1	仕様	情報管理システム		開発部	システムへのログイン	Windowsにログインしているのだから、再度ログインさせる必要がなく、その結果利用できなくなってしまう。従来のユーザーID管理の仕組み、システム導入作業時に慣習してあることは変更しない。	5
2	仕様	認証システム	○	企画部	システムへのログイン	従来のユーザーID管理の仕組み、システム導入作業時に慣習してあることは変更しない。	1
3	仕様	情報管理システム		開発部	システムへのログイン	ユーザーIDの取得はシステム側で実施する必要がある。どのような仕組みで実施しているか確認し、同じ仕組みを採用したい。	3
4	仕様	認証システム	○	開発部	システムへのログイン		1
5	仕様	情報管理システム	○	開発部	役割別なパスワードの管理	パスワードに使える文字が、Windowsにログインする文字と違う。同じパスワードにしたいのに、統一できない。開発側の都合に合わせたパスワードの管理が必要。	12
6	仕様	情報管理システム		開発部	その他		1
7	仕様	情報管理システム		開発部	その他	開発の進捗が、開発中に「開発」完了を待たずに「運用」に移行してしまっている。運用に移行する際の準備が不十分で、すぐに使い始めることができない。開発も不在の状態が多い。運用は必ずしもシステム側で実施できない。開発側からのサポートが重要で、開発側の責任は必ずしも開発側にある。Input Readyな状態で受け取りたい。	1
8	コスト	情報管理システム	○	システム	人事異動に伴うユーザーIDの管理	人事異動に伴うユーザーIDの管理は、運用側で実施している。運用側で実施している場合は、運用側の責任は必ずしも運用側にある。Input Readyな状態で受け取りたい。	1
10	コスト	情報管理システム	○	システム	人事異動に伴うユーザーIDの管理	人事異動に伴うユーザーIDの管理は、運用側で実施している。運用側で実施している場合は、運用側の責任は必ずしも運用側にある。Input Readyな状態で受け取りたい。	1

【テンプレート】ID管理に関する現状の問題点リスト

本書のセールスポイント

- 内部統制に対応した統合ID管理の計画から導入までを解説
- 日本ネットワークセキュリティ協会の約5年間の活動を集大成したガイドライン
- 実際にシステムを販売しているベンダー、コンサルタント、SIerによる初の書き下ろし
- 現場の担当者がすぐ使える「ID管理に関する現状の問題点リスト」や「現状調査記述書—業務フロー」などのテンプレート付き
- クラウドを活用する際の要点がすぐわかる

ご清聴ありがとうございました